



謹賀新年 新たなスタートです

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成31年1月号】

《重点目標》『品格を高め、目標に向かってねばり強く取り組もう』

『新年 あけましておめでとうございます』

生徒たちにとって、充実期としての2学期も終わり、冬休み後の3学期が始まりました。3学期はまとめの学期とも言えます。1年生は中堅学年としての準備、2年生は学校をリードする最高学年としての準備、3年生は進路実現に向けて最後の追い込みの時期となります。

特に3年生は、これからの自分の生き方にかかわる決断が迫られるので苦悩も多いと思いますが、先生方や家族の皆さんと相談し合いながら乗り越えてほしいと思います。



【新年！「目標」を立てて】

昨年の生活を様々な面で考え、いろいろな場面で反省しながら新年の「目標」を立てさせてみましょう。

①学校での生活面から

- ・あいさつや礼儀、言葉遣い、服装・頭髪、生活態度、清掃、提出物、時間を守る、自転車の乗り方、持ち物等

②学校での学習面から

- ・学習の心得、授業を受ける態度、提出物、学習意欲や態度等

③生徒会活動や学校行事から

- ・意欲、責任、役割分担、態度、協力、友達との関係、活動の成果等

④部活動から

- ・練習への意欲、参加態度、きまり、友達との関係、成績等

⑤家庭での生活面から

- ・睡眠時間、スマホの使用時間、家庭学習、手伝い、地域での生活態度、ボランティア活動等

※目標を立てるときは、目に見えるような実際の姿や達成できたかどうかを数値で、判断できるようにすることも一つの方法です。

【歴史検定への初挑戦】

昨年末、本校では初めての歴史検定を実施しました。準3級は残念ながら合格できませんでしたが、4級（4名全員）、5級（5名全員）が合格いたしました。

おめでとうございます。

【一日の計は朝にあり】

江戸時代の儒学者の佐藤一斎の語録（言志四録）に「少にして学べば、則ち壮にして為すことあり壮にして学べば、則ち老いて衰えず老いて学べば、則ち死して朽ちず」という言葉があります。



人生の幼少期即ち、中学・高校時代の勉学が生涯にわたって強く影響すること、また、社会の変化が激しい時代に生きるためには常に学び続けなければならないこと、つまり生涯学習が必要であることを伝えたものです。

現代にも通用する名言だと思います。多分この佐藤一斎の言葉が背景にあるものと思いますが、「一日の計は朝にあり。一年の計は元旦にあり。一生の計は少壮の時にあり。」と言われています。

一日の計画は朝立てて、気持ちの入ったスタートを切るべきである、一年の計画は元旦に立てて、気持ちの入った一年のスタートを切るべきである、そして、一生の計画は、若くて勢いの盛んな中・高校生のときに立て、気持ちを持続して生涯を送れば良い人生を全うできる、という意味です。

第3学期の始業式にあたり、新年の新たな気持ちを込めて、「亥：イノシシ（猪）」年の1年間の計画を立て、それぞれの目標に向かい、猪突猛進で達成できるよう決意を新たにしたいと思います。

3年生は、卒業まで2カ月足らず、県立高等学校の選抜入試の試験が2月上旬に迫りました。いろいろと考えることがあると思いますが、焦ることなく、これまでに努力したことに自信を持って臨んでください。

入学試験で実力を発揮するためには、まず健康が大事です。インフルエンザも流行っていますので健康に十分注意して臨んでください。

1・2年生にとっても、3学期は単に学年の終わりというだけではなく、次の学年への準備期間です。明確な志と目標を持ち、計画性のある毎日を送ってほしいと思います。



【読書のすすめ】 フロックスは私の目

（福沢 美和 文春文庫）

フロックスはとても賢い盲導犬です。階段もエレベーターも電車の空いた座席も、目の不自由な主人に正確に教えてやることができます。福沢さんはフロックスと一緒に暮らすようになってから人生が変わりました。一人で電車や飛行機に乗って遠くまで旅に出ることもできるようになりました。福沢さんは目の不自由な分、季節の移ろいや人のやさしさなどへの感性が細やかです。そんな福沢さんとフロックスのほのぼのとした毎日を描いた本書には、温かいぬくもりがあふれています。読み終えた読者の心もまたぽかぽかと温まってくる本です。